



12月の防犯対策



令和2年12月1日
(公社)滋賀県防犯協会



歳末特別警戒の開始

今年も残すところ1か月となり県下各地域で歳末特別警戒も始まりました。今年にはコロナ禍の影響を受け防犯ボランティア活動も自粛や規模を縮小しての実施を余儀なくされたことと存じますが、何かとせわしい年の暮れ、つい防犯意識が薄れがちになります。コロナ対策と合わせて防犯対策を強化し、安心して新年を迎えられるよう努めましょう。



ゆ

「ゆるくない！空き巣に居空き、忍びみ」
ゴミ出しなどの短時間の外出でも、在宅中でもカギをかけましょう。帰省や旅行などで家を空ける時は不在を悟られないよう新聞を止める等の工夫を。

だ

「だんらんは、サギ対策の作戦会議」
手を替え品を替え繰り返される特殊詐欺。「電話での合言葉を決める」「防犯機能付き電話機に替える」「留守番設定にする」など家族が集う機会に話し合みましょう。

ん

「ん？なんか変！今すぐサインしなきゃだめ？」
突然、訪問した業者が家屋の無料点検。「すぐに工事が必要」と言われてもその場で契約しない。不審な時は、はっきり断りましょう。

が

「画面見ながら・歌聴きながらのながら歩きはスキだらけ！」
スマホやイヤホンを使用しているとひたたくりや痴漢に気付かず対応できません。ながら歩きはやめましょう。

あ

「危ない！子どもを一人にすると」
たくさんの人がいる場所でも一人歩きの子どもは不審者に狙われやすく危険です。目を離したり一人でトイレに行かせるのはやめましょう。

い

「ないっ！車内のバック、財布が。止めたはずの自転車か」
コンビニ等に寄る短時間でも車や自転車にはカギをかけましょう。

ストップ！ネット犯罪

○子どもの性が狙われています！

多くの子どもが**スマホや音楽プレイヤー、ゲーム機**等で簡単にインターネット（「ネット」と略します。）を利用するようになり、子どもの性を狙った「**児童ポルノ**」「**児童買春**」事犯が増加しています。

「**児童ポルノ**」事犯は子どもの裸の写真を撮ったりネット上に掲示して見せびらかせたり渡したり、持っていたりする犯罪です。被害の多くは、SNS上で知り合った相手を信用し、又は脅されて子どもが自分で自分の裸の写真を撮り相手に送ってしまうものです。

「**児童買春**」事犯はお金を払って児童と性的行為をする犯罪です。多くはネット上の「出会い系アプリ」や「SNS」を使って子ども自ら援助交際を求めることによるものです。

ネット内で出会いを求める子どもの多くは現実の社会に居場所を見いだせない場合が多く保護者や周りの大人が些細な変化を見逃さないことが大切です。また、被害防止には「**フィルタリング**」を利用することが重要です。「**フィルタリング**」とは、ネット上の有害サイトへのア

クセスを制限する機能で、18歳未満の子どもが携帯電話等を使用する際、法律で原則利用することが義務付けられています。さらにはSNSを利用したグループ内での「いじめ」等もありますので、家庭でも携帯電話等のルール作りをして子どもを被害者にも加害者にもしない対策をしましょう。

○身近に迫るサイバー犯罪

コロナの影響でリモートによるテレワークやオンライン会議が増える中、サイバー犯罪の手口も巧妙化しています。比較的多い手口を紹介

1 サポート詐欺

インターネット閲覧中に突然「警告！重大な脅威を検出」等の画面が出て消えなくなり、記載の電話番号に電話すると色々指示され遠隔操作ソフトを入れてしまうこととなります。そして、ウイルス除去の名目で料金を請求され電子マネーの番号などを送られ騙し取られるのです。

2 フィッシング

「セキュリティ警告」「再認証」「荷物の配送」等と書かれた電子メールやSMS（電話番号のメール）が届き、本物そっくりな偽のサイトに誘導されます。そしてサービスを利用するのに必要な認証情報（ID、パスワード）や個人情報を入力してしまい情報が抜き取られます。

対策としては「1」の場合、表示が出て電話せず購入店や警察等に相談する。「2」の場合、メールに書かれたリンク先にアクセスしない、誤ってアクセスしても、うかつに個人情報などを入力しない。また、ウイルス対策ソフトの導入も忘れないようにすることです。

被害を最小限に抑えるには、手口を知り、他人事と思わずに被害防止に向けた意識を高めていくことです。

（対策を万全にし良い新年をお迎えください。）